令和６年度　胆振地区の研究活動

研修部長　苫小牧市立錦岡小学校
校長　河　毛　幸　至

１　はじめに

胆振管内校長会は、４市７町の公立小中学校と義務教育学校に属する 102 名で組織され、校長一人一人の職能向上やチーム学校の強化につなげるため、各市町校長会が足並みをそろえるべき取組や、その基盤となる義務教育９年間を見据えた小中連携の在り方や校長の責務について追究している。令和６年度からは第９期研究計画に基づき、胆振管内校長会教育研究大会の開催を通して、課題を共有し､具体的な解決の方策の検討を行うなど｢チーム胆振」として管内教育の維持向上に向け研鑽に努めている

◇第 23 回胆振管内校長会教育研究大会◇

２　研究計画

⑴　活動方針

校長会として組織的に取り組んでいく。新たな取組や大きな改善のためには様々な情報や状況の分析が必要であり、校長会として英知を集結させ、胆振管内としての大きな流れを作る中で自校の特色を出していくことが効果的、かつ、効率的な学校改善につながっていく。全連小・道小や全日中・道中との関連を図りながら、グローバルな視点として全国的な動向や情勢を押さえつつ、胆振の実態を踏まえた課題解決につながる研究を推進する。

⑵　研究について

①　基本主題

「未来を拓き　よりよい社会を創り　生き抜く力の育成を目指す学校教育の推進」
～ふるさとへの誇りと確かな学びの力を育むチーム胆振としての学校改善～

②　研究領域

ア　教育課程　　「教育課程」を活かす学校経営
視点１　各種調査を活かした学校経営（学力・道徳・体力など）
視点２　特色ある教育課程を編成・実施する学校経営（小中連携・地域素材・学校の新しい生活様式など）

イ　組織・運営　「人・組織」を活かす学校経営
視点１　組織が機能する学校経営（体制・資質向上・働き方改革など）
視点２　各種施策を踏まえた学校経営（方針・事業・働き方改革など）

ウ　家庭・地域・関係機関との連携　　「家庭・地域の教育力」を活かす学校経営
視点１　家庭・地域と連携した学校経営（学校運営協議会・ＰＴＡ活動など）
視点２　評価を活かした学校経営（学校評価・学校関係者評価など）

⑶　本年度の研究推進

①　第９期研究計画（４か年継続研究）の１年次として、これまでの研究の成果と課題を踏まえながら、その改善策の検討と新たな課題の明確化に努める。

② 第 23 回胆振管内校長会教育研究大会を会員各位の理解と協力を得ながら開催し、第９期研究をまとめるとともに、その成果を各校の学校経営に反映させていく。

③ 全連小や道小、全日中や道中、各市町校長会との連携を密にし、一貫性のある教育研究の推進を図るとともに、研究成果の還流・交流に努める。

④ 管内研修部長研修会を通して研究の推進と交流を図るとともに、管内教育の実態把握と情報交流に努める。

⑤ 研修部報「いぶり」を適時適切に発行する。

３ 研究活動の概要

⑴ 全連小各種委員会調査への協力

⑵ 第 23 回胆振管内小・中学校長教育研究大会

○期　日　　令和６年８月 29 日（木）

○会　場　　登別市民会館

○内　容　　・第９期研究概要の説明　胆振管内校長会研修部長　　河毛　幸至

・全体提言発表

第 67 回北海道小学校長会教育研究空知・岩見沢大会

第５分科会「豊かな人間性」

提言者：室蘭市立天神小学校長　　平石　崇広

・分科会・分散会

６分科会において、六つの市町校長会から提言発表

グループ協議　全体交流

・講演会　「“観”の転換期における学校経営の視座」

講師　　北海道教育庁胆振教育局義務教育指導監　　秦　　将人　様

⑶ 第 67 回道小教育研究空知・岩見沢大会への参加

○期　日　　令和６年９月 13 日（金）～14 日（土）

○第５分科会「豊かな人間性」において、室蘭市立天神小学校　平石校長が提言発表を行った。

⑷ 第 65 回道中研究大会十勝・帯広大会への参加

○期　日　　令和６年９月 27 日（金）～28 日（土）

⑸ 第 75 回全日中研究協議会岩手大会への参加

○期　日　　令和６年 10 月 17 日（木）～18 日（金）

⑹ 第 76 回全連小研究協議会徳島大会への参加

○期　日　　令和６年 10 月 24 日（木）～25 日（金）

⑺ 道中第４ブロック研修会への参加

○期　日　　令和６年 11 月 15 日（金）

○主　催　　空知管内校長会

４ おわりに

昨年度に引き続き、胆振校長会教育研究大会は会同で実施した。六つの分科会については、各市町校長会から提言発表を行うとともに、分科会では、視点を明確にした話合いを行うために、事前に作成したレポートを持ち寄っての研修会とした。熱心なグループ協議となり、職能向上や今日的な教育課題への研鑽を深めることができた。今後も各校の校長が独自に取り組むのではなく、校長会としての英知を結集し、一体感ある取組を推進していきたい。